

【4-8 定性的システマティックレビュー】

<b>CQ</b>	3	挙児希望の乳癌患者の採卵に際し、調節卵巣刺激を用うことは推奨されるか？
<b>P</b>	妊孕能温存療法で採卵のために卵巣刺激をする上で、調節卵巣刺激の有用性を検討。卵巣刺激には調節卵	
<b>I</b>	妊孕能温存療法自体を介入としている研究もある。通常の調節卵巣刺激と、アロマターゼ阻害剤との併用と	
<b>G</b>	妊孕能温存療法を選択しない、または乳癌患者ではなく、不妊症患者など。	
<b>臨床的文脈</b>	治療：採卵手術で卵巣刺激をする際の方法について検討。より多くの卵子を採取する目的だが、エストロゲンの上昇も伴うため、それがどの程度乳癌に影響を与えるかを評価することが目的。(しかし、ほとんどがエストロゲンの上昇を抑える目的でアロマターゼ阻害剤が併用されており、このCQ本来の検討目的を果たせていない。)	

<b>O1</b>	採取卵胞数
<b>非直接性のまとめ</b>	4つのケースコントロールスタディと4つのコホート研究、1つのケースレポートを評価している。すべての研究で介入に大きな問題(調節卵巣刺激単独ではなく、アロマターゼ阻害剤との併用であったり、妊孕能温存療法自体を介入としている研究もある)がある。
<b>バイアスリスクのまとめ</b>	1つケースレポートが含まれている点、コホート研究はあるが、背景因子に大きな差があること、介入に大きな問題があることから、バイアスリスクは大きいと考える。
<b>非一貫性その他のまとめ</b>	比較不可な研究を除いて、4つの研究で採卵数に差はないとの結果であったが、これは多くが調節卵巣刺激とアロマターゼ阻害剤との併用と、通常の不妊症患者に対しての調節卵巣刺激での結果である。非一貫性は大きいと考える。
<b>コメント</b>	介入内容が一番CQに近いのが、タモキシフェン単独での卵巣刺激と、調節卵巣刺激+アロマターゼ阻害剤の併用との採卵手術成績比較の研究であり、それはCOSを用いた介入群がタモキシフェン単独と比較して採卵数が多いとの結果であった。これらを総合すると、調節卵巣刺激をする上ではアロマターゼ阻害剤の併用が乳癌の妊孕能温存療法には望ましい。

<b>O2</b>	妊娠率
<b>非直接性のまとめ</b>	2つのコホート研究と、3つのケースコントロールスタディと1つのケースレポートを評価しており、背景因子に大きな差があり、介入方法にも大きな問題がある。
<b>バイアスリスクのまとめ</b>	採取卵胞数のアウトカムで記載したように、背景因子に大きな差があることと、介入方法にも大きな問題があることから、バイアスリスクは大きいと判断する。
<b>非一貫性その他のまとめ</b>	妊娠率を2群間で比較検討できているのは、2つの研究のみで、それでは有意差は出ないが、そもそもの背景因子が大きく異なることから、非一貫性も大きいと判断する。
<b>コメント</b>	非一貫性が大きく、バイアスリスクも大きいため、結果の信頼性は低いが、介入群の妊娠率は39.7%~54%であり、コントロール群(通常の調節卵巣刺激群)と有意差はない。

<b>O3</b>	生児獲得率
<b>非直接性のまとめ</b>	2つのコホート研究と、3つのケースコントロールスタディと1つのケースレポートを評価しており、背景因子に大きな差があり、介入方法にも大きな問題がある。
<b>バイアスリスクのまとめ</b>	妊娠率のアウトカムと同様に背景因子に大きな差があることと、介入方法にも大きな問題があることから、バイアスリスクは大きいと判断する。
<b>非一貫性その他のまとめ</b>	生児獲得率を2群間で比較検討できているのは、2つの研究のみで、1つの研究では有意差は出ないが、もう1つの研究では有意差があり、さらにそもそもの背景因子が大きく異なることから、非一貫性も大きいと判断する。
<b>コメント</b>	バイアスリスクが大きい、非一貫性が大きいという点から結果は信頼性が低いが、生児獲得率が18~32%であるという結果は、情報として有用である。

<b>O4</b>	エストロゲン値の上昇
<b>非直接性のまとめ</b>	4つのコホート研究と4つのケースコントロールスタディを評価しており、介入に大きな問題がある。
<b>バイアスリスクのまとめ</b>	介入に大きな問題があり、背景因子もそれぞれで差が大きいため、バイアスリスクも大きい

<b>非一貫性その他のまとめ</b>	調節卵巣刺激にアロマターゼ阻害剤を併用している介入群は不妊症患者で通常の調節卵巣刺激をおこなっていた対照群と比較してエストロゲン値が有意に低いという点では非一貫性はないか、あるとしても少ない。
<b>コメント</b>	本来のCQ の意義とはズレており、結果も信頼性が低いと言える。